

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No.189

2006年

3～4月号

## 行 事 案 内

### 3月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3月12日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 カモ類など冬鳥の北への旅立ちが  
始まり、ツバメやコチドリなど早い  
夏鳥がやってくる季節です。沼だけ  
でなく、周りの田畑も注意して観察  
しましょう。  
解 散 正午  
担 当 中野、飯島、北原、桑森、小林(寿)、  
松田、野口(紀)

案 内 春の訪れとともに、北へ帰るカモメ  
の仲間が集まってくるのを観察し  
ましょう。行き先は銚子港、状況に  
よっては波崎まで足をのびします。  
カモメはフィールド経験が大切、是  
非参加して経験を積みましょう。

交 通 今井観光バス  
費 用 3,000円  
申 込 染谷まで 先着順 23名  
申込開始 3月3日  
Tel 04-7182-3972

担 当 染谷、大久保

### 4月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 4月9日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 まだ残っている一部の冬鳥ともお  
別れです。代わって春の渡りの季節  
です。じっくり探してみましよう。  
解 散 正午  
担 当 松田、飯島、北原、桑森、小林(寿)、  
中野、野口(紀)

### 秋ヶ瀬探鳥会

期 日 4月23日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
持 参 観察用具、雨具、弁当(途中購入可)  
案 内 荒川沿いのさいたま市秋ヶ瀬公園で  
渡りの途中の小鳥たちとの出会い  
を楽しみます。オオルリやキビタキ  
に出会えるかも。

交 通 乗用車分乗。同乗者は運転者に  
1,500円(含む高速代)を支払いた  
ださい。

申 込 諏訪まで。車を提供いただける方は  
その旨も。

Tel/Fax 04-7188-7137

担 当 諏訪、田中

### 銚子カモメ探鳥会

期 日 3月26日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
持 参 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)

## 筑波山探鳥会

期日 5月7日(日) 雨天中止  
集合 我孫子駅北口 午前7時  
持参 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)  
案内 恒例のゴールデンウィーク探鳥会  
です。本隊(健脚向き)は筑波山の裏  
側から探鳥しながら御幸ヶ原に登  
り、別隊(一般向き)は筑波山神社で  
の探鳥後、ケーブルカーを利用して  
御幸ヶ原で本隊と合流します。その  
後、男体山を周遊する自然研究路を  
一周し、裏側から下山します。ソウ  
シチョウ、オオルリ、ツツドリの美  
声と姿に出会えるでしょう。  
交通 今井観光バス  
費用 3,000円(バス代等) ケーブルカー  
の利用者は別途 大人 570円、小  
人 290円(片道)が必要です。  
申込 猪爪まで  
Tel/Fax 04-7186-5075  
担当 猪爪、染谷

### 平成18年度定期総会

日時 4月9日(日) 午後1時30分～  
場所 アピスタ1F 工芸工作室  
議題 平成17年度活動報告案、同決  
算報告案  
平成18年度事業計画案、同予  
算案  
その他

17年度の成果を総括し、18年度の活動方  
針等を決める総会です。出来るだけ多数  
の会員の出席をお願いし、活発な総会に  
なるよう期待いたします。

## 3月幹事会

日時 3月12日(日) 13:30～16:30  
場所 我孫子市民会館第4・5会議室  
議題 総会議案号の検討  
・17年度活動報告案及び決算案  
・18年度事業計画案及び予算案  
会報190号記載記事について  
ビオトープ調査班の選任  
その他 議題を提出する場合は事  
務局へ連絡ください。

### 平成18年度上期行事予定

4月9日(日) 手賀沼定例探鳥会  
定期総会(午後)  
4月23日(日) 秋ヶ瀬公園探鳥会  
5月7日(日) 筑波山探鳥会  
5月14日(日) Enjoy! 手賀沼  
幹事会(午後)  
6月3,4日(土,日) 裏磐梯探鳥会  
6月11日(日) 手賀沼定例探鳥会  
6月25日(日) 笹川・小見川探鳥会  
7月9日(日) 手賀沼定例探鳥会  
幹事会(午後)  
7月16,17日(日,月) 日光白根・霧降高原  
探鳥会  
7月22日(土) 映写会(午後)  
納涼会(夕方)  
7月30日(日) ホタルの夕べ(夕方)  
8月13日(日) 手賀沼定例探鳥会  
8月27日(日) 多摩川河口探鳥会  
9月10日(日) 手賀沼定例探鳥会

# 行 事 報 告

## 12月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2005年12月11日 9:00~12:00  
曇り、無風、気温 8

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、スズガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、キジ、バン、オオバン、タゲリ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 44種 番外 カワラバト

<探鳥班> 飯島博、中野久夫、山田哲生、諏訪哲夫、常盤孝義、小川克子、西巻実、太田暁子、松本勝英、川村美智子、川村美恵子、桑森亮、渡辺政一、武藤康之、堀口勝、小口勝久、六角昭男、玉井修一郎、橋本清、染谷迪夫、榎本右、首藤佑吉、間野吉幸、北原建郎、川田光男、類地佑子、谷山晴男、佐々木隆、鈴木静治、猪爪敏夫、田丸喜昭、田丸メリールイス、大久保陸夫、片桐邦夫、小玉文夫、松田幸保、木村稔、宮下三禮、小林寿美子、野口紀子、野口紀恵、石川綾夏

参加者 42名

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	7	2	9
ハシロカイツブリ	1	13	14
カンムリカイツブリ	11	16	27
カワウ	43	82	125
ダイサギ	5	9	14
コサギ	4	25	29
アオサギ	9	6	15
コブハクチョウ	0	6	6

マガモ	3	8	11
カルガモ	20	62	82
コガモ	11	333	344
ヒドリガモ	0	29	29
オナガガモ	0	14	14
ハシビロガモ	0	3	3
ホシヅロ	0	3	3
ミコアイサ	3	6	9
バン	0	1	1
オオバン	14	27	41
タゲリ	0	6	6
ユリカモメ	43	131	174
セグロカモメ	1	0	1
合計	175	782	957

## 1月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2006年1月8日 9:20~12:15  
晴れ・風やや強 気温 2

<認めた鳥> カイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、ミサゴ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス 計 38種

<探鳥班> 小林秀美、村瀬和則、柴本三弘、佐々木隆、大越美恵子、間野吉幸、猪爪敏夫、宮下三禮、諏訪哲夫、大久保陸夫、西巻実、谷山晴男、川田光男、信澤正一、小林寿美子、野口幸子、田丸喜昭、田丸メリールイス、植田啓介、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、片桐邦夫、渡辺政一、田中功、田中やす子、六角昭男、類地佑子、常盤孝義、

谷沢幸次、武藤康之、小玉文夫、玉井修一郎、中森紘、中森道子、松田幸保、太田暁子、小口勝久、鈴木静治、榎本右、野口紀子、野口紀恵、佐藤弘美、宮崎知雄、北原建郎

参加者 46 名

<カウント班> 木村稔、染谷迪夫、桑森亮

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	11	1	12
ミカイツリ	2	0	2
カムリカイツリ	5	1	6
カウ	37	20	57
ダイサギ	2	3	5
コサギ	4	12	16
アオサギ	9	4	13
コブハクチョウ	2	13	15
マガモ	3	240	243
カルガモ	39	7	46
コガモ	0	21	21
オナガガモ	0	11	11
ホシハジロ	0	26	26
ミコアイサ	3	5	8
バン	1	0	1
オオバン	7	35	42
ユリカモ	0	8	8
セグロカモ	5	4	9
合計	130	411	541

## 涸沼探鳥会

12月30日

### 初めてのカワアイサに感激

玉井修一郎

このたびメジャーデビューした涸沼探鳥会に始めて参加した。師走の12月30日で極寒の世界を覚悟していたが、茨城地方は最高気温10度と、日差しもあり風も穏やかな快適な探鳥会であった。

時間通り朝8時に我孫子駅北口に25名全員が集合、6台の自家用車に分乗し6号線を北上、一路涸沼へと向かう。私は我孫子に住んで約10年となったが、生来の出不精で茨

城県は牛久より北に行ったことが無く、楽しいドライブも兼ねることになった。牛久市街地を通過し牛久インターチェンジで圏央道、その後常磐自動車道に入り岩間インターチェンジで降りて、県道を進み、涸沼の西端に到着しさっそく探鳥。その後、弁天鼻網掛(あかけ)公園、いこいの村涸沼で昼食も兼ね、最後に涸沼東南部の養護施設付近で各々探鳥を行う。冬鳥も十分に多く、満足しながら食べる日向での弁当が美味しい。特に手賀沼の定例探鳥会などでは見たことが無かったホオジロガモの目の下の丸い大きな白斑、カワアイサ雄の頭部の緑色の光沢のある黒と胸と下面の鮮やかな白のコントラストに大満足した。ただ、例年立ち寄っている大谷鮮魚店が、今年は不漁により涸沼しじみの販売を中止しており、土産として購入出来なかったことがただ一つの不満足であった。

2時に涸沼を出発、常磐線高浜駅でのトイレ休憩の後で霞ヶ浦西岸に到着。こちらでも白と黒の長く伸び腰に垂れ下がった三列風切のヨシガモを初めて探鳥。また、3メートルほどの距離で枯草にまぎれて採餌していた人懐っこいタシギをじっくり堪能する。

名残は惜しかったが霞ヶ浦を後にし、土浦バイパス、国道125号線経由で土浦北インターチェンジから常磐自動車道へ入り、矢田部東パーキングエリアで鳥合わせを行う。なんと56種も観察していた。帰宅後の一風呂の後で、手帳と図鑑を見比べながら当日の鳥を再度思い出し、晩酌の酒がどんどん進むこととなった。

幹事で車に乗せていただいた飯島さん、同乗で色々説明していただいた松田さん・中西さん、当日の参加者の皆さんにこのような機会を与えていただいたことを深謝致します。

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カムリカイツブリ、カウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、ハクチョウSP、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、キジ、オオバン、タゲリ、タシギ、セグロカモメ、キジバト、カワ

セミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス  
計 56 種

<参加者> 田丸喜昭、田丸メリールイス、諏訪哲夫、西巻実、榎本右、北原建郎、桑森亮、中野久夫、木村稔、野口幸子、井上正、間野吉幸、大久保陸夫、小玉文夫、松田幸保、鈴木静治、山本貞江、中西栄子、首藤佑吉、首藤美恵子、小林寿美子、玉井修一郎、鳩川堯、山住良子、飯島博 参加者 25 名

---

## 波 崎 探 鳥 会

---

1月3日

---

### 小見川で鷺鷹が さすが精悍

小島昭江

「Gya !!」1月3日の探鳥日から、1号田丸車に同乗させていただき、3にナンバリングされた私に、探鳥後記を書くよう指名されたときの私の鳴き声です。

8時 19名のメンバーが5台の車に分乗して我孫子市役所を出発。2006年1月1日は曇り、2日は雨、そして3日は正月晴れ、外気温3度、風はなく探鳥日和。利根川堤防沿いを東へ。

9時30分 第1観察地 小見川堤防  
刈り取られた畑の中、さして大きくない枯れ木の先に、獲物を狙っているらしきオオタカ発見。ノスリ、チュウヒ、トビ。川には水中の魚を捕獲しようと足を入れるミサゴ。こんなに近くで鷹・鷺類を見たのは初めて。さすが精悍そうです。

10時30分 第2観察地 神之池  
池で泳いでいるたくさんの鴨達。ヒドリガモ、オナガガモ、オカヨシガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ。田丸さんの望遠鏡をのぞき、鮮やかなグリーンの頬をしたのがヨシガモ、地味な色彩がオカヨシガモと教えていただく。話は逸れますが、4日上野動物園に天然記念物川上犬に会いに行ってきました。昨日会ったミコアイサと比較

すべく、パンダ舎も見てきましたが、白と黒のバランス、なるほどよく似ていました。

12時 かもめ公園で昼食

12時30分 第3観察地 かもめ公園

防波堤にずらりと並んだカモメが、突然群れをなして大きく飛び、キンクロは潜り、魚を銜え飲み込む姿を見せてくれました。どうしたのでしょうか、足指の部分が無いウミネコが一羽、痛ましい姿です。JFの風力発電機用の大きな三枚羽の前方に、ホバーリングしているチョウゲンボウ、風車と戦うドンキホーテを思い出し、楽しくなっていました。

12時40分 第4観察地 波崎漁港

強い風に飛ばされそうでした。トイレタイムの後車に戻ると同時に、頭上を雨雲が通過。危ういところでセーフ。

14時 第5観察地 北浦湖岸

オオハクチョウ、コハクチョウ、コブハクチョウが、子供達の手からパンや穀類をもらい、「コー!!」と大きな声で鳴いていました。キンクロの冠羽が後ろに垂れているのがなんとも可愛らしい姿でした。

15時から北浦の簡保センターでコーヒープレイクと鳥合わせ。

仕事の関係から、土日のお休みが難しく、なかなか参加できずにおりますが、小鳥達と自然を共有するとき、大きな力に生かされている自分を感じ、安らぎを満喫します。和む一日です。

16時10分 赤い夕焼けに浮かび上がる富士山を正面に、右手に筑波山のシルエットを望みながら利根川沿いを西に、帰宅の途につきました。お天気と、楽しいパフォーマンスを見せてくれた、たくさんの鳥達、そして皆様に多謝。

最後に一言、幹事の猪爪さん、出発前にチョット耳打ちしていただければ、もう少しましな探鳥後記が書けたかもしれませんのに、拙い感想文になってしまいました。

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、ヒメウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナ

ガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンク  
ロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カワアイ  
サ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュ  
ウヒ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、タ  
ゲリ、ハマシギ、ユリカモメ、カモメ、セグ  
ロカモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、キ  
ジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、  
セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、  
メジロ、アオジ、スズメ、ムクドリ、ハシボ  
ソガラス、ハシブトガラス 合計 55 種  
<参加者> 田丸喜昭、田丸メリールイス、  
小島昭江、六角昭男、間野吉幸、山本貞江、  
武藤康之、松田幸保、小玉文夫、西巻実、宮  
下三禮、小口勝久、桑森亮、鳩川堯、中野久  
夫、猪爪敏夫、鈴木静治、首藤佑吉、首藤美  
恵子 参加者 19 名

---

---

## 井頭公園探鳥会

1月29日

---

---

### 初めてのミコアイサに胸の鼓動を

山田 哲生

私は、昨年秋のジャパンバードフェスティ  
バル2005で行われた船上バードウォッチン  
グに参加したことがキッカケとなって入会  
した新人です。

私は今まで野鳥にはあまり興味がなく、何  
の知識もありません。又今回の探鳥会も参加  
する直前まで東京の“井の頭公園”へ行くも  
のと思い込み、軽い気持ちで申し込みをする  
ような慌てものです。そんな私に、帰りのバ  
スの中で“新人だから今日の感想文を書くよ  
うに”との命令が下され、「そんなの聞いて  
ないよお -」

初めから聞いていればもう少し気合を入  
れて参加したのに・・・、と悔やんで見  
ても後の祭りであった。断る勇気もなく、あ  
いまいな返事のまま引き受ける羽目となっ  
てしまった。ふと、楽しかった遠足の後に苦  
手な感想文を書かされた小学生時代を思い  
出した。

“トホホ” そんな訳で、内容の乏しい、つま  
らない感想文になりますが、会員の皆様は  
親鳥が雛鳥を見るようなやさしい心でお許  
しを。

さて、朝 8 時に我孫子駅北口を出発した  
バスは、冬晴れに輝く関東の名山、筑波山を  
右に見ながら国道 294 を北へと向かう。車  
中で井上さん、大久保さんから 1 月 10 日か  
ら 15 日まで開催されたオーストラリア探鳥  
会の模様を聞く。実に 77 種類の野鳥を見て  
来たという。寒い日本を逃れて、暖かいオ  
ーストラリアでの探鳥会とは、全くうらやまし  
い限りだ。途中のコンビニで昼食を調達し、  
道の駅でトイレ休憩をしながら、予定通り目  
的地に到着する。

鳥見亭という所で常駐レンジャーから簡  
単な鳥情報のレクチャーを受けた後、早速探  
鳥の開始となる。今日の井頭公園は風もなく、  
真っ青な空が広がり、それほど寒くもなくす  
ばらしいバードウォッチング日和だ。まず、  
池に目をやると最初にマガモのグリーンの  
美しさが目に飛び込んできた。光線の具合に  
よるものであろうか、手賀沼のマガモよりも  
グリーンの色が明るく鮮やかに見える。思わ  
ずこのマガモは美人ぞろいだと言ってしまう  
そうになったが、オット！これはオスであ  
った。つづいて、浮いている白い鳥を発見。  
近づいて見ると一度是非見たいと思っていた  
ミコアイサだ。本当にパンダ顔だ！うれし  
い！世のおば様方が初めて“ヨン様”を見  
たときのあの熱狂的な興奮状態には及ばない  
が、内気な少年が、初めてアイドルの少女に  
会ったときのような胸の鼓動を覚えた。

そして歩くにつれて、図鑑を見てにわか勉  
強をした、ピンズイ、ルリビタキ、シロハラ、  
ミヤマホオジロ、カシラダカ、シメなどのア  
イドル達に次々に会うことができた。いうま  
でもなく、自分で発見したものでなく全て教  
えてもらったり、スコープを覗かせてもらっ  
たりしたものだ。それにしてもベテランの  
方々が枝の陰や落ち葉の中に隠れている彼  
等を見逃さないのには驚く。「心ここにあら  
ざれば、見れども見えず、聞けども聞けず」  
と言われるが、私には心ここにあっても見え  
ない。そのうちなんとかなるものだろうか。

そうこうしている内に昼食タイムになる。  
切り株に腰をおろして、私がようやく 8 割  
ほど食べたところで、もう出発となる。「職  
人は“早飯”も芸のうち」というが、バード  
ウォッチャーも早飯なのかと思いつつ口を  
もぐもぐしながら後についていく。

誰かが冬こそバードウォッチングの季節だ。茂っていた葉が落ちてウォッチングが楽になる。とっているのが聞こえてくる。そういえばバードウォッチング入門書に同じようなことが、季節ごとに書いてあったのを思い出した。

“春こそバードウォッチングの季節だ。春はいろいろな野鳥がさえずり始める”

“夏こそバードウォッチングの季節だ。夏は多くの野鳥達の子育てが見られる”

“秋こそバードウォッチングの季節だ。秋は多くの野鳥の渡りが見られる”

要するにバードウォッチングにはシーズンオフはない。ということかな等と思いつながらなおも歩みを進める。小高い雑木林に囲まれたこじんまりとした池の畔を、厚く降り積もった落ち葉を踏みしめて歩くと、サクサクという音が体に響き、野鳥の声も聞こえてくる。そんな心地よさを楽しんでいると瞬く間に終了の時間となる。

帰路のバスの中で、早速今日のバードソンの結果が発表される。バードソンとは、野鳥の種類をいくつ見たかを競うゲームのようである。今回はAチームとBチームに分かれて競い、36対38でBチームの勝利となったが、勝ったチームに賞品はなく、負けたチームには罰ゲームもない。勝ったチームにはただ賞賛の拍手が送られるだけ、という野鳥を愛する紳士と淑女にはふさわしい平和な戦いであった。

つづいて、5月に筑波山の探鳥会が予定されているという報告があり、その中でこの辺では筑波山でしか見られないソウシチョウとか云う鳥が見られるという話があった。

“なぬ、筑波山でしか見られない鳥がいるって？” “ウッソー” 私は土浦で生まれ育ち、小学校の遠足で筑波山に行っていらい、何度も行っているがそんな話は聞いたことがないぞ。我が女房殿は筑波山の産だが、おそらくそんなことは知るまい。うむー、これは5月に参加して自分の目で確かめねばなるまい。

また、6月は裏磐梯の探鳥会でアカシヨウビンを見るという。あんな全身真っ赤でハデハデな奴はアマゾンのジャングルの奥深く棲息しているに違いない。裏磐梯で会えるなんて“アンビリバーボー”。ビギナーの私に

は、素朴な疑問がわいてきてますますバードウォッチングへの興味がそそられる。

アメリカの著名なバードウォッチャーは「バードウォッチングは、ある者にとっては科学であり、芸術であり、気晴らしであり、仕事であり、退屈なことである。」と云っている。私にとって気晴らしかな等と考えているうちに、バスは夜の帳が降りはじめた我孫子に到着した。

楽しい一日でした。細かく気を配ってお世話して下さいました幹事の猪爪さん、染谷さん有難うございました。スコープを覗かせて下さった方々、色々教えて下さった方々ありがとうございました。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、オオタカ、バン、キジバト、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、ルリビタキ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 43種

<参加者> 染谷迪夫、中根文世、諏訪哲夫、北原建郎、西巻実、山田哲生、大久保陸夫、間野吉幸、宮下三禮、桑森亮、鈴木静治、伊藤貴子、井上正、谷山晴男、猪爪敏夫、小林秀美、佐々木隆、松田幸保、玉井修一郎、植田啓介、田中功、松本勝英、松本葉子、六角昭男、鳩川堯、小川克子、田丸喜昭、田丸メリールイス、柴本三弘、柴本法子  
参加者 30名

---

---

## 芋煮会報告

12月18日

---

---

今回の芋煮会は天候は晴れていたが、10mを超える強風に見舞われた。野外での煮たり焼いたりとは不可能だったので、常設のかまどを使っての料理になった。それでも風に悩まされ、お皿やコップが風に飛ばされて大変だ

った。

開催場所 五本松公園キャンプ場

＜参加者＞ 赤尾完、飯島博、井上正、猪爪敏夫、大久保陸夫、大野真澄、片桐邦夫、北原建郎、木村稔、木村正子、桑森亮、小玉文夫、小林学、小林藍子、小林寿美子、佐々木隆、志賀鉄雄、柴本三弘、柴本法子、島崎純造、首藤佑吉、首藤美恵子、杉森文夫、鈴木静治、諏訪哲夫、染谷迪夫、田中三郎、田中功、谷山晴男、常磐孝義、常磐保子、戸塚道、中尾正直、中野久夫、西巻実、野口隆也、野口洋子、野口鉄蔵、野口紀子、野口紀恵、石川綾夏、橋本清、長谷川行広、堀口勝、松本勝英、松本葉子、間野吉幸、宮下三禮、六角昭男、山田哲生、小林秀美 参加者 51 名

## ディケアクラブの野鳥観察会

1月25日

島崎純造

昨年3月のことですが、同じ病気を持つ人たちが集って、一緒に話し合いをしたり、レクリエーションをしたりしながら、友だちをみつけ、人付き合いの練習をして社会参加を目指す「我孫子市ディケア・クラブ」から、17年度の事業として「野鳥観察会」を計画したいという相談があり、一番いい時期ということからこのほど実施の運びになりました。

午前10時アピスタ第2学習室に集合し（参加者はスタッフを含め8名、当会からは佐々木隆、染谷迪夫、島崎純造の3名）挨拶もそこそこに手賀沼公園小池ボート乗り場脇へ向かいました。

カモ類、オオバン、カイツブリ、カワウ、ユリカモメなど3、40羽程が泳ぐ中にコブハク、カナダガン、バリケンそれにコクチョウと大型種がいて見ごたえありでした。

次に若松遊歩道を「文学の広場」まで歩いたところ、林の鳥は期待外れでしたが、入口のところで往復ともカワセミがお出迎え！ゆっくりと翡翠の輝きを見せてくれ一同大喜びでした。ここでは遠くに富士山の勇姿を見るという貴重な体験もできました。

2時間足らずでしたが、認めた鳥は25種、成果があった観察会でした。

配付資料

日本の鳥チェックリスト

手賀沼探鳥マップ（鳥博）

「自然とともに 野鳥とともに」（鳥連）

## H18年1月幹事会 報告

日時 H18年1月8日(日) 13:30~16:00

場所 水の館 3F 研修室

議題 1. H18年度上期行事予定

2. 会報189号記載記事について

3. 会計中間（第3四半期）報告

4. 水の館から当会定例探鳥会の認めた鳥の掲示依頼の検討

5. 報告事項

・JBF実行委員会の反省報告

・定例カウント班の選任

・芋煮会の会計報告

## 事務局 便り

### 市民手賀沼探鳥会

我孫子市環境レンジャーとの共催で1月22日（日）実施予定だった市民手賀沼探鳥会は降雪のため、中止となりました。（佐々木）

### 第15回手賀沼ふれあい清掃

恒例の年末の手賀沼ふれあい清掃が12月4日9:00~11:30実施されました。

集合場所 手賀沼公園 多目的広場

当会の清掃エリア ふるさとコース（手賀沼公園～根戸新田）

参加者 島崎純造、小林秀美、佐々木隆、間野吉幸、松田幸保、野口幸子、町田進、染谷

迪夫 参加者8名

（追）清掃後のジャンケン大会で佐々木さんが入賞されました。（染谷）



## 新入会員紹介

片桐邦夫（我孫子市布佐平和台）  
池田妙子（我孫子市船戸）  
小池勉（柏市柏の葉）

## 投稿のお願い

会員の皆さんからの探鳥記、楽しい話題、スケッチ、写真等の投稿をお待ちしています。  
投稿先 小玉文夫まで  
270-1144 我孫子市東我孫子 1 - 2 8 - 8  
Fax 04 - 7139 - 8260

## カラスも結構可愛い仲間

柴田五郎

私の第二の職場は、小石川後樂園の直ぐ近くだった。毎月、OB 会がその会議室であり、軽くアルコールも出る昼食会である。終わって帰りは必ず後樂園に寄る。入場料は、以前は高齢者は無料だったが、2 年程前から、半額の 150 円になった、園内は緑が一杯、花も多い、四季の移り変わりが分かっていつ寄っても楽しい。カラスが 2 羽いて、すっかり仲良しになってしまった。

本当は園内での餌やりはいけないのだろうが、こっそり、いつも携行のビスケットをやる。いつのころからか私の手から取って食うようになった。

最近のことである。私の手から取って食ったビスケットを隣のベンチにいるカラスの所にいき、自分の喉に嘴を突っ込ませ、ビスケットを食わしている。初めて見る光景である。夫婦とばかり思っていたがそうではなく、親子らしい。私が引き上げると、園の出口まで、2 羽で送ってくれるのである。

カラスも結構可愛い仲間なのだ。

## 鳥だより

- |   |  |                |
|---|--|----------------|
| 11.16 [東中新宿] コハヨウ(8)18:30 すぎに<br>1 群 5 羽、1 群 3 羽が鳴きながら通過<br>飯泉久美子 | 11.23 [北新田] ハブサ(1)電柱上 中野久夫               | 複数か鳴きながら通過 飯泉仁 |
| 11.20 [布施] 伽(1)樹上にいた 中西榮子   | 11.25 [上沼田] フウゲ(1)物色飛翔                   | 大久保陸夫          |
| 11.21 [弁天下] 竹沖(6)2 号排水路で採<br>餌 中野久夫                               | 12.04 [手賀沼] ニセグロカ(1)下沼、採餌<br>中西榮子        |                |
| 11.21 [北新田] イリサキ(1)青山水門で採<br>餌<br>中野久夫、諏訪哲夫、北原建郎、猪爪敏夫             | 12.04 [手賀沼] ミコ(1)杭に止まっていた<br>飯泉仁・久美子     |                |
| 11.21 [北新田] ヒ(1)飛翔 中野久夫   | 12.04 [片山新田] フウゲ(1)電柱に止<br>まっていた 飯泉仁・久美子 |                |
| 11.21 [北新田] 材効(1)成鳥、河川敷樹上<br>中野久夫 金成典知                            | 12.07 [都部村新田] フウゲ(1)物色飛<br>翔 大久保陸夫       |                |
| 11.22 [東中新宿] ユギミ(2)21:30 ~ 21:40                                  | 12.11 [手賀沼] 刈(1)下沼                       |                |

- 飯泉仁・久美子
- 12.11 [手賀沼] 材ヅリ(5) 01.08 [手賀沼] ㇿ(1)下1  
染谷迪夫、木村稔、桑森亮
- 飯泉仁・久美子
- 12.11 [名戸ヶ谷] ㇿ(1)電線に止 01.16 [北新田] ミコ(1)利根川上を下流方  
向に飛翔 中野久夫
- まっていた 飯泉仁・久美子
- 12.12 [弁天下] 材(1)橋の欄干上 01.16 [北新田] ハイ(1) 、物色飛翔  
中野久夫
- 中野久夫
- 12.12 [弁天下] ㇿ(2)電柱上 01.20 [北新田] ㇿ(2)電柱上  
中野久夫、金成典知
- 12.16 [片山新田] ミコ(1)杭に止まる 01.20 [北新田] ㇿ(1)4号排水路で採  
餌 中野久夫、金成典知
- 大久保陸夫
- 12.17 [北新田] ㇿ(1)物色飛翔
- 中野久夫、金成典知
- 12.17 [北新田] ㇿ(2)電線上
- 中野久夫、金成典知
- 12.18 [泉村新田] ミコ(1)下沼、泉村  
新田地先、揚水機場水門コンクリート構造  
物の上で休息 赤尾完
- 12.19 [都部新田] ㇿ(12)並んで水面  
を行進 首藤佑吉
- 12.20 [北新田] ㇿ(8)利根川上を上流  
方向に飛翔 中野久夫、金成典知
- 12.24 [手賀沼] 材(2)下沼遊泳
- 桑森亮
- 12.24 [手賀沼] ミコ(1)下沼岸辺休憩
- 桑森亮
- 12.25 [北新田] ㇿ(2)水路採餌
- 桑森亮
- 12.25 [北新田] ミコ(2)物色飛翔
- 桑森亮
- 12.30 [都部新田] 材(1)休息、都部新  
田地先 赤尾完
- 12.29 [北新田] ㇿ(3)利根川上を下流  
方向に飛翔 中野久夫、金成典知

### 今回の観察者の総投稿件数

赤尾完	2
飯泉仁	15
飯泉久美子	1
飯泉仁・久美子	95
大久保陸夫	5
桑森亮	44
首藤佑吉	1
染谷迪夫・桑森亮・木村 稔	40
中西栄子	16
中野久夫	23
中野久夫・金成典知	20
中野久夫・猪爪敏夫・ 北原建郎・諏訪哲夫	3
<b>総計</b>	<b>265</b>

紙面の都合上、皆様から寄せられた鳥便り  
の一部を掲載させていただきました。なおご  
報告いただいた鳥便りは全てデータベースと  
して収録させていただきました。

### 我孫子野鳥を守る会 会報 No189 2006年(3~4月号)

発行 2006年3月1日

発行人 間野吉幸 我孫子野鳥を守る会 会長

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270-1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04-7182-3972

振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円(大学生、高校生 1,000円、中学生以下 500円、  
家族会員 無料)